

光琳新撰百圖

光琳寫

上

世

754.7
K7a

Korin

Gift from Kobayashi

July, 1906

(see his letter)

世の中に尾形光琳のものはききや
 一花一葉をみる人は是を知らず奇に
 ようとみられし其後何と多く我
 大皇國乃寛平延喜以来の
 なるをむねしるる宋の古雅をうの
 むのみし人物山水花鳥の草木
 奥の極め筆墨のたまに精妙

ひさしく位置凡さるも人ふれお
出せ世にまゐる古人此跡をたゞ古
人の跡をばらまじ古人乃あるを礎とし
て略る古人此意あるなり昔此人
はへりく平生古人のそと学力を
毛深く学ばるるを以て古人なく
して精ん自ら顯るゝといふも古又

とて伊ふるむめふを世人の
後く愛めて推してゝる雅な
うとあり又あり俗ありて字雅雅
ありめりてゝるに雅ありさるはり
り光琳に表裏表裏雅ありその
とありてゝる部ありて樂にばあ
りあはるゝとて一字をもちゝる

是我皇國之天子也南宗最

第一言——我師抱一先生

子常子長此是六遠志之象也

少人の思へるはあらず我

皇太子武王の御成婚

道々言はるる乃さちいふものありけり

とふこふ海よりなりたれどもとふより

幸々此の如くあるを
称す

能くはく事たるは取用をわくは我

収
と
し
つ
の
ア
左
橋
之
琳
付

卓落西轡のさと草花をひや

羣芳之強

因中につる骨たのきなりあはる

自ら大和魂
尊之は
顯れ
張子

思ひ及れぬ事しえより以ての古き
と名められ南京北宗と名められ
癖たあれいつたものなり
日とんれぬ事しえより以て
つゝはるの法橋れぬ事しえより
れぬ事しえより以ての古き
と名められ南京北宗と名められ
癖たあれいつたものなり
日とんれぬ事しえより以て

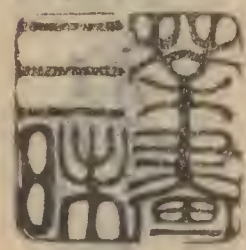
師れぬ事しえより以ての古き
と名められ南京北宗と名められ
癖たあれいつたものなり
日とんれぬ事しえより以て
つゝはるの法橋れぬ事しえより
れぬ事しえより以ての古き
と名められ南京北宗と名められ
癖たあれいつたものなり
日とんれぬ事しえより以て

けもあましきとてる

え治と改めたる甲子の年

張邨 藤原之佐 喬和軒

北南窓乃をよそへてのあふ



縮本 終彩



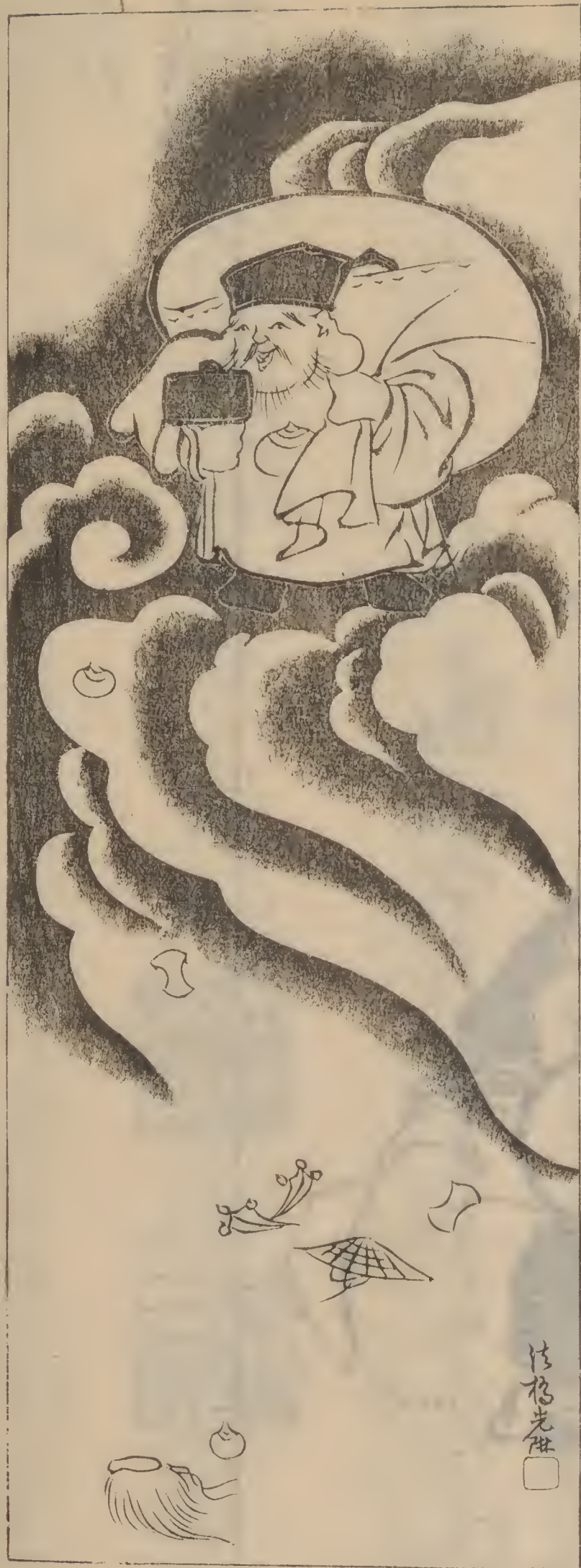
はなは

絹本
墨画



竹橋光琳

絹本
淡彩



竹橋光琳

絹本
彩色
太公聖



竹橋光琳

紙本
彩色
秋好中丞の侍女
横山氏蔵



竹橋光琳

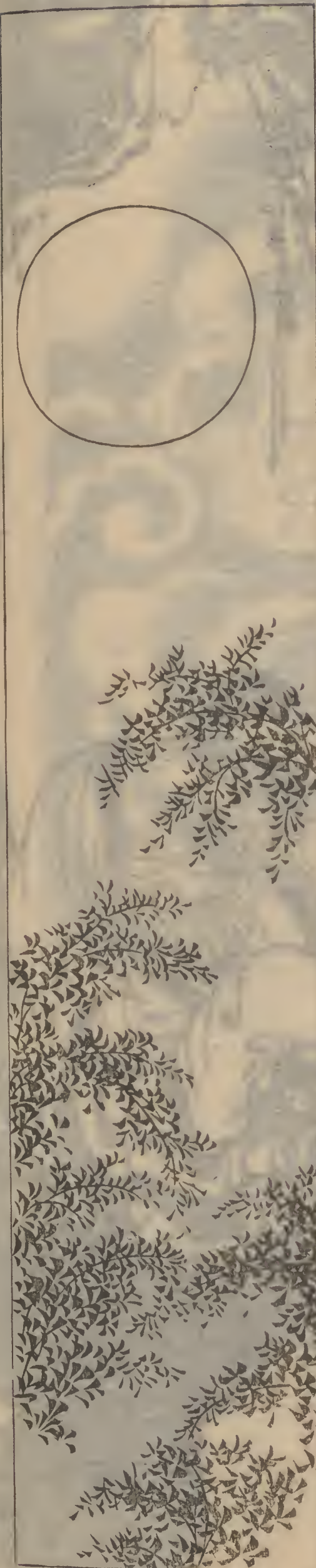
紙本淡墨



法華經出家人像

延寶九年閏六月二十日
主
尾松軒藏

紙本金銀泥



舊松軒藏

紙本彩色



紙本彩色 山阿僧尼三幅對



尾松軒藏



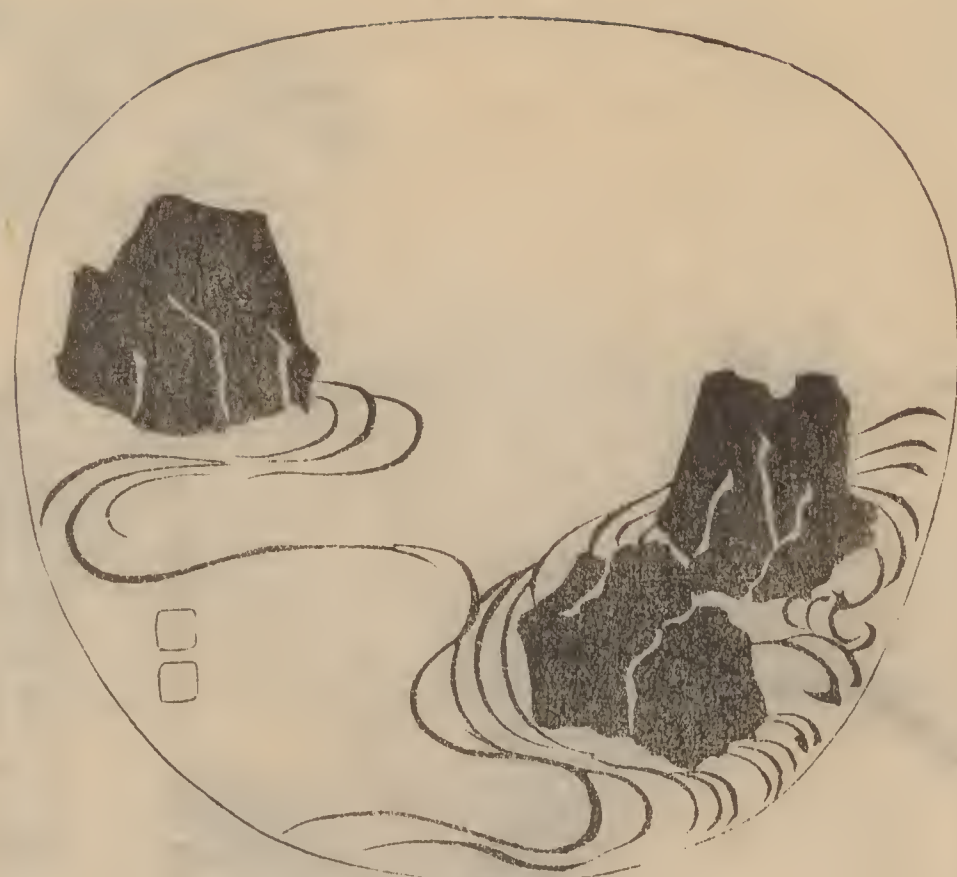
尾松軒藏

錦本
彩色

紙本三幅對彩色



金地
圓扇



毫彩極

金地



同

金泥
ぬり
墨画



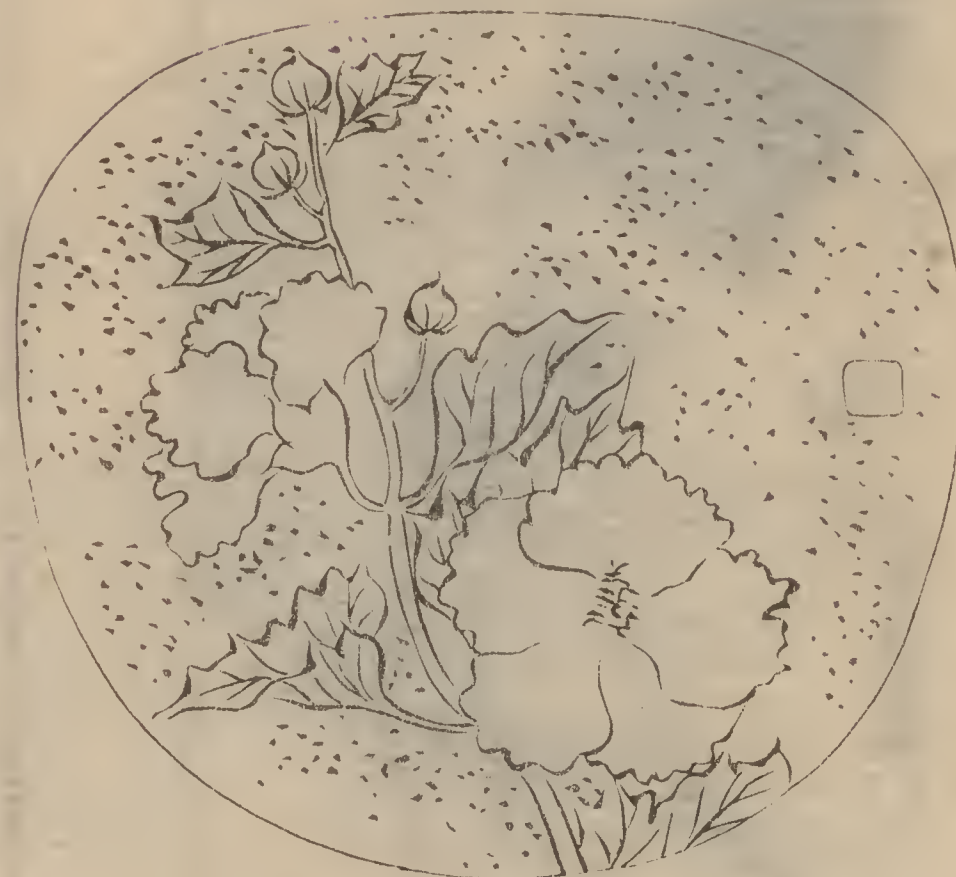
光琳

魚
泥引



同

金砂子



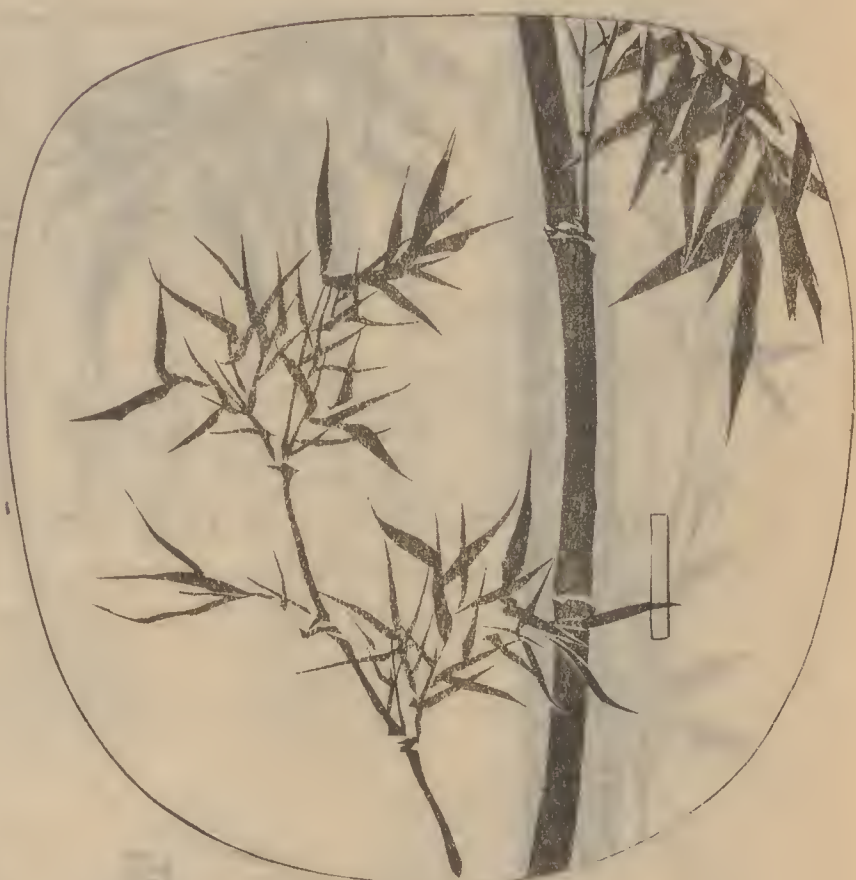
毫彩極

金地



同

金
泥引



墨画

魚
泥引



同

銀 青 金 天 地



色 彩 極

金 地



色 彩 極

泥 引



淡 墨

泥 引 金 泥



墨 画

同



同

泥 引



同

金 地 金 泥 銀 青 金 天 地
 色 彩 極 色 彩 極 淡 墨 墨 画
 同 同

金地二枚打屏風 何勢切極彩色

竹松光琳方親



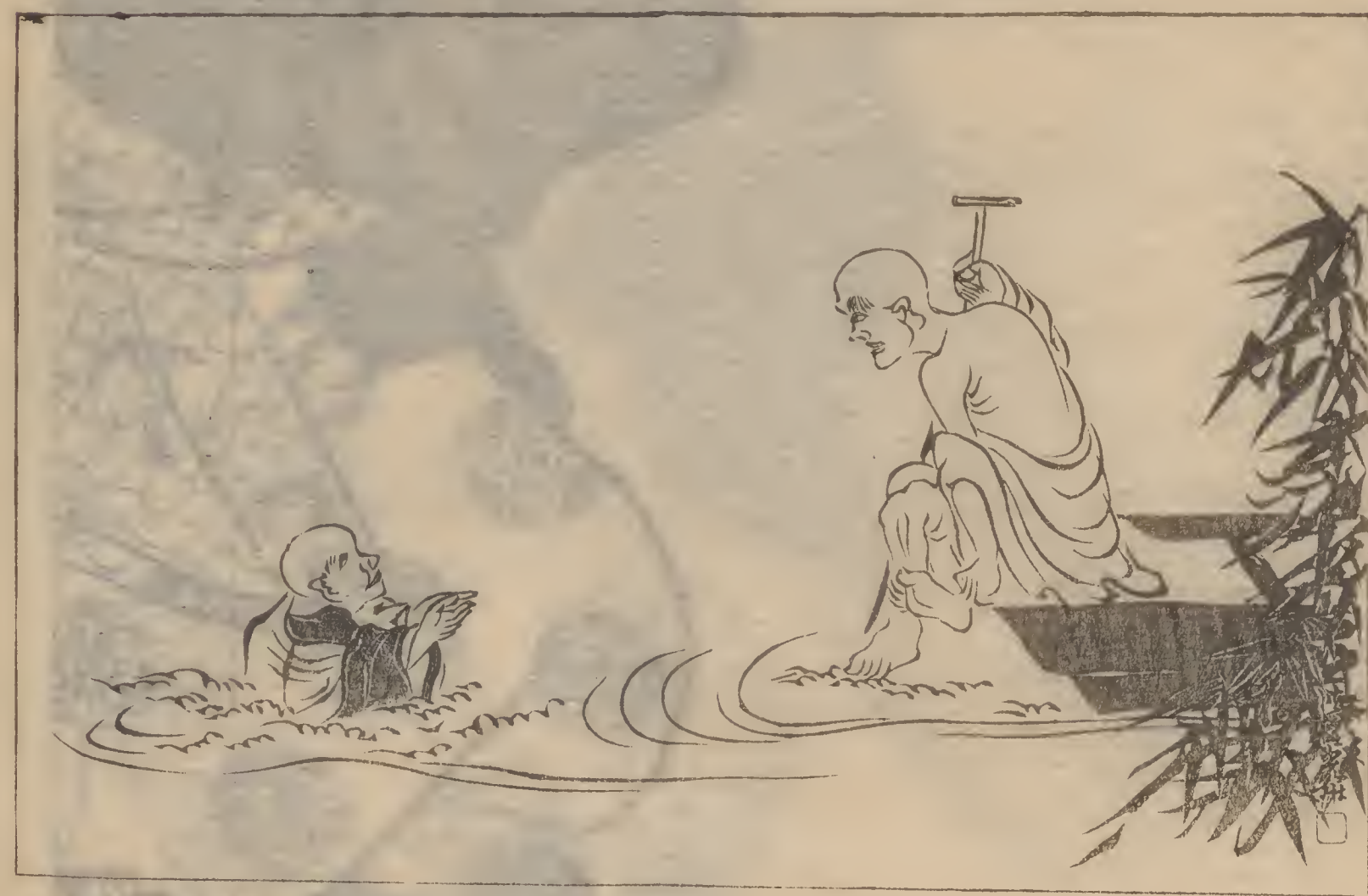
訪年墨画之笑



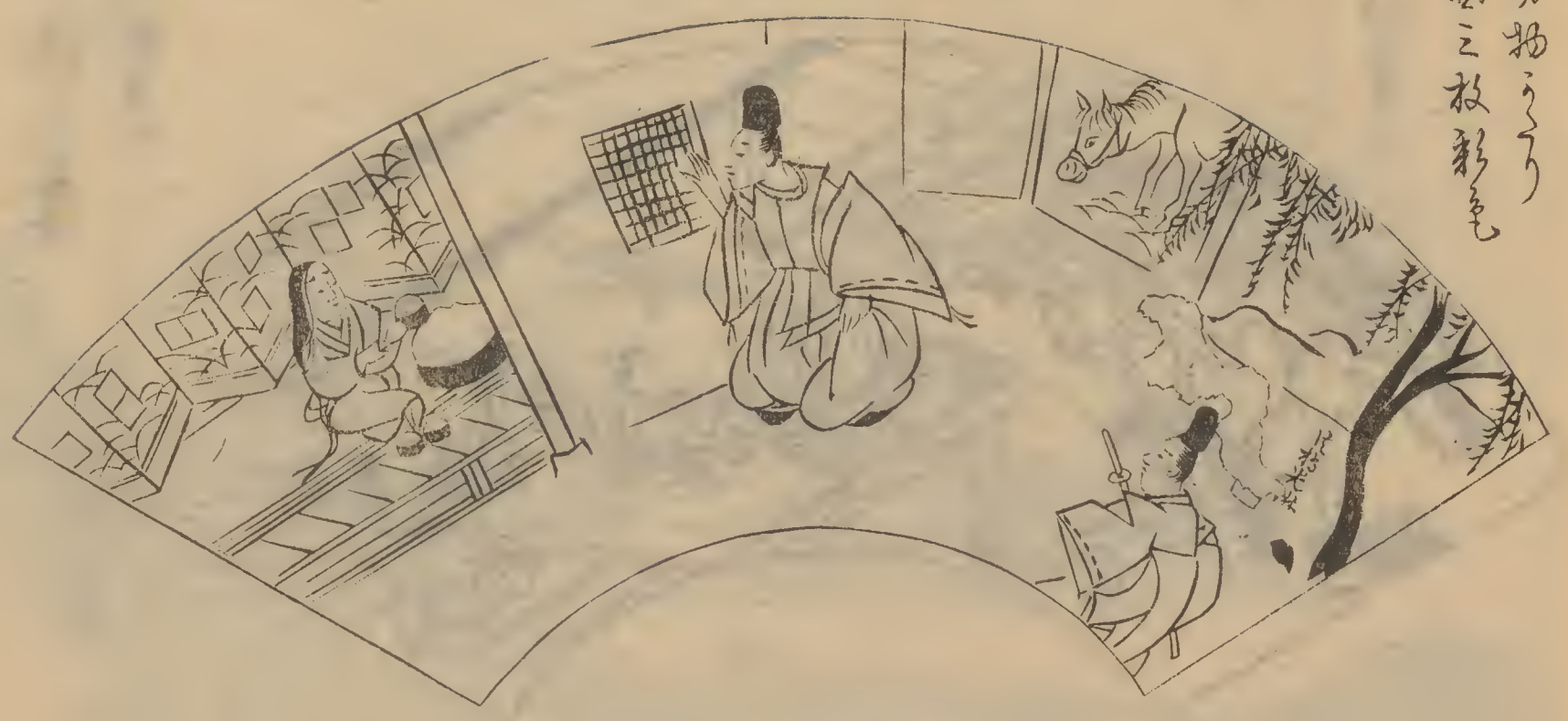
江村光叔

舊松軒藏

續年澄彩規子曹山



伊勢物語
扇面之枚彩色

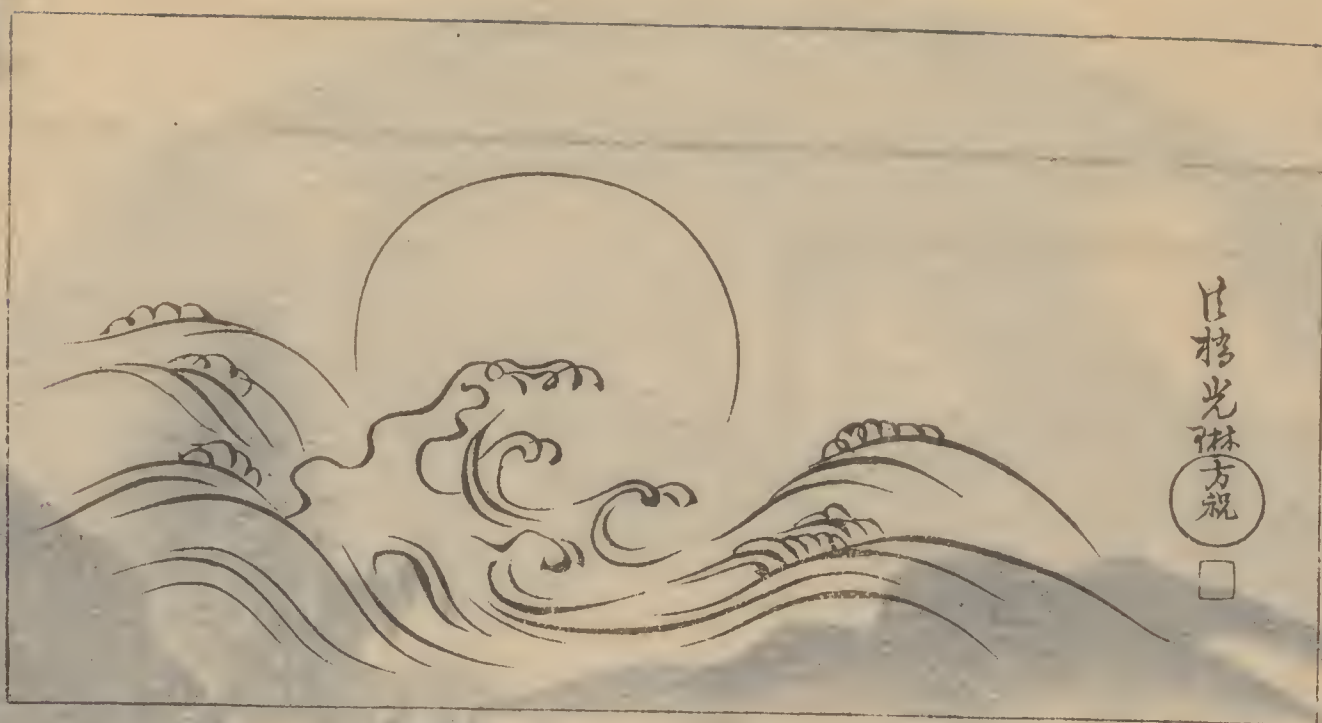


管公録記扇面
三枚彩子



信年時より金

日精光琳方親



不爭庵藏

信年時より金



平田以心左衛門

元禄四年

紙本
淡墨



新景川



舊松軒藏

紙本
淡彩

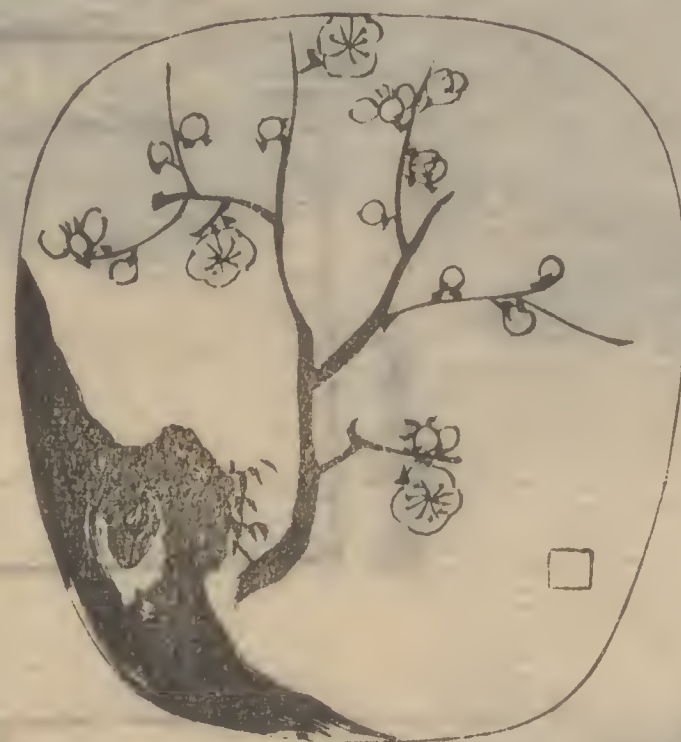


本紙

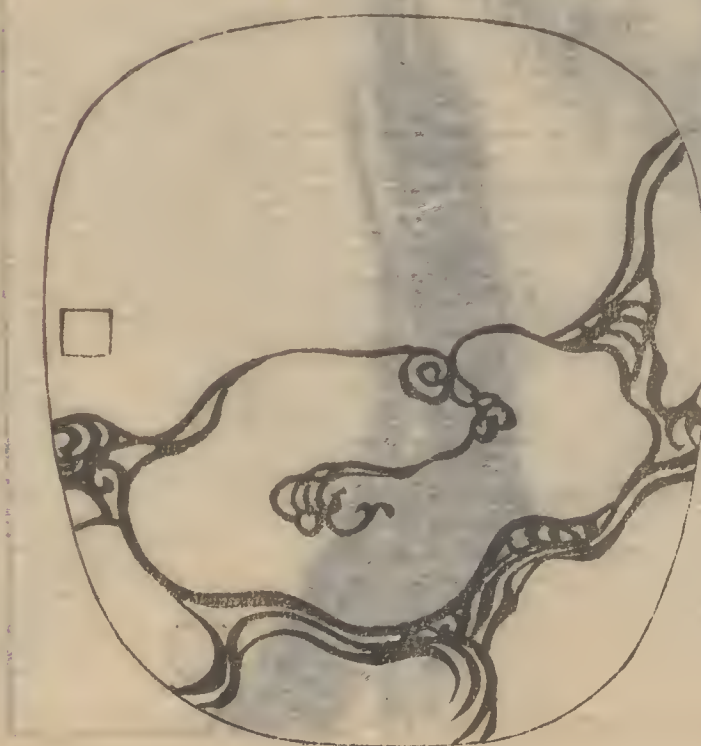


圓扇六枚

白地泥引



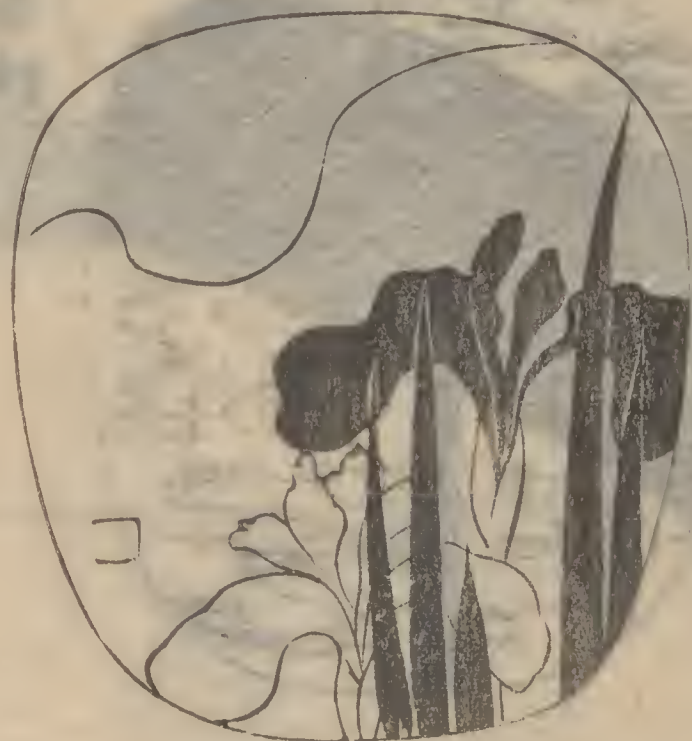
金地
泥引



同右



金地



金地



白地



金地



檀銀泥
川
波群青



紙本
淡彩



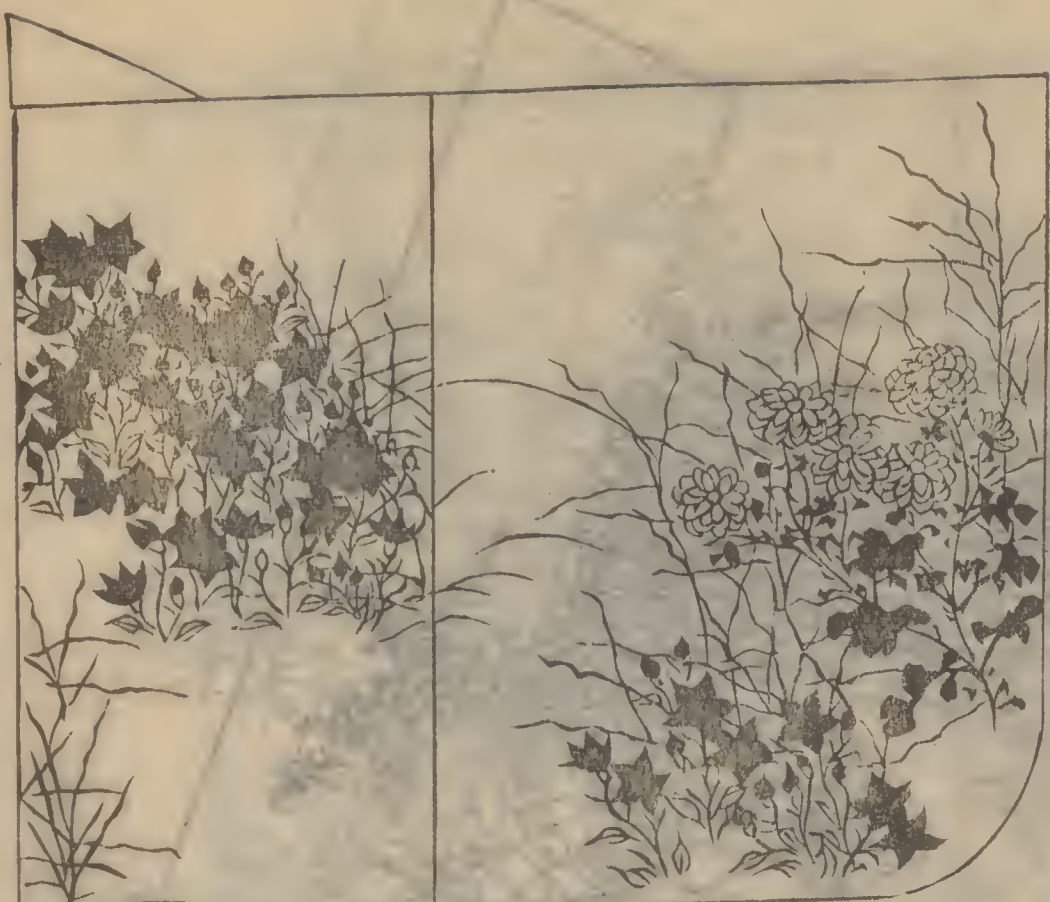
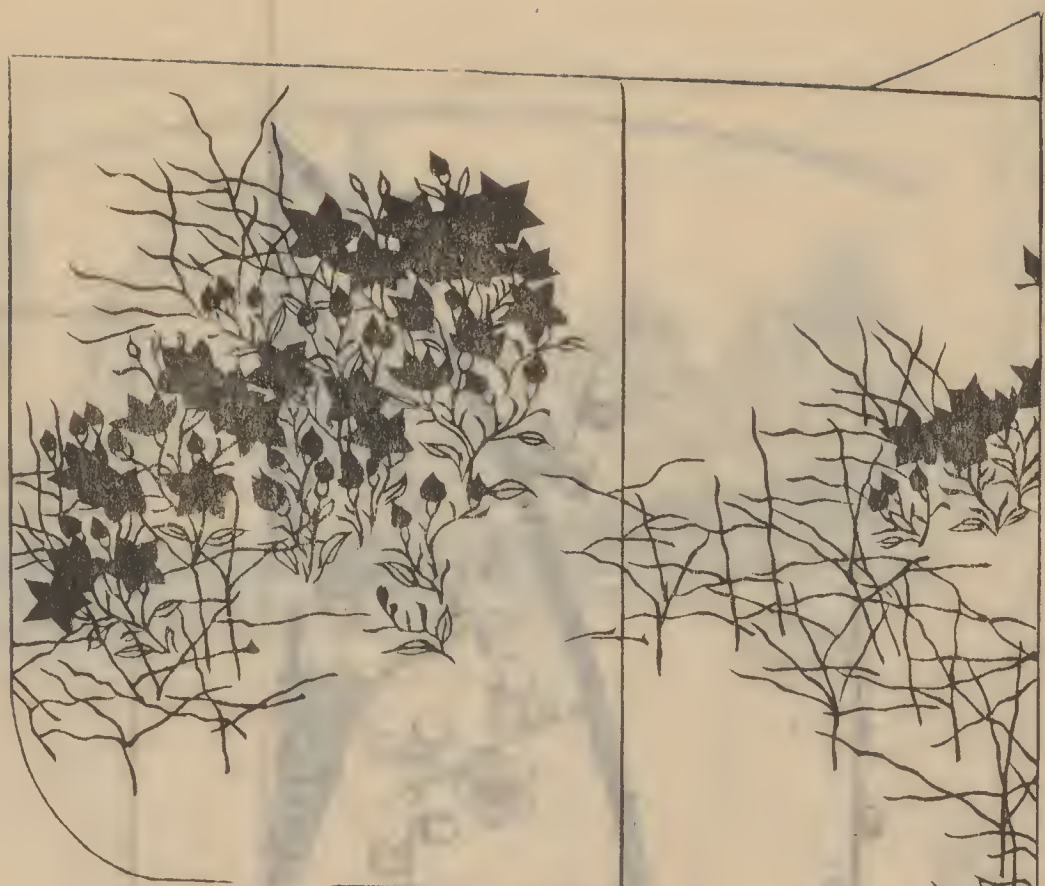
紙本
淡彩



光緒
廿
年



秋草花
 少神
 新色
 花の
 金銀泥



右
一
路

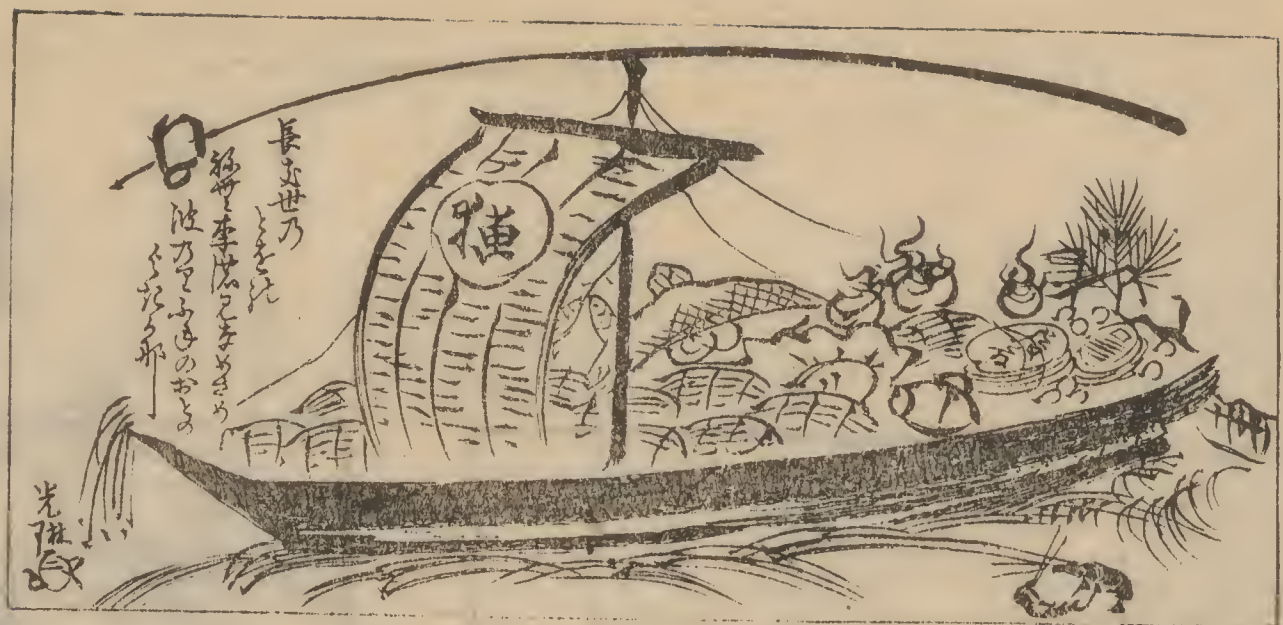
絹本
淡彩



絹本
墨画

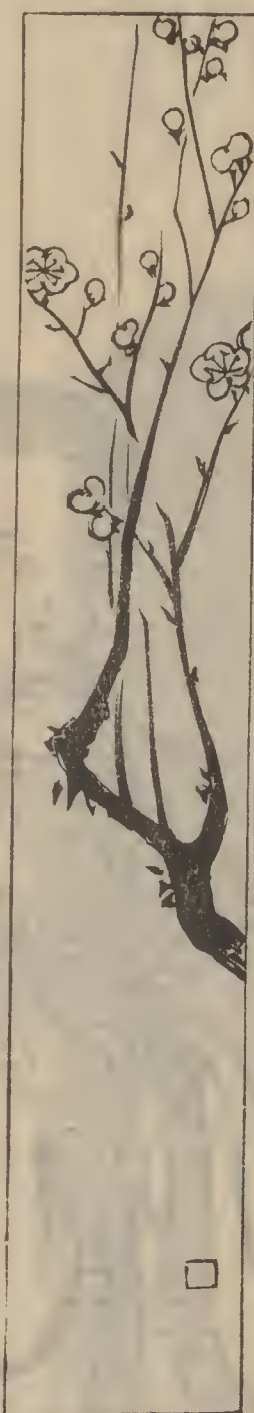


紙本
墨画



紙本
墨画

松竹梅雪月花



紙本
中淡彩
左右
墨画



竹光琳



竹光琳



青々光琳

紙本墨画
福祿壽

金地 六枚 一雙 四季 草花 彩毛



癸卯五年戊子
元旦

紙本みづろ



紙本みづろ

其時光陰寂明



金華山圖





蔭繪三輪硯箱

大九寸
横八寸

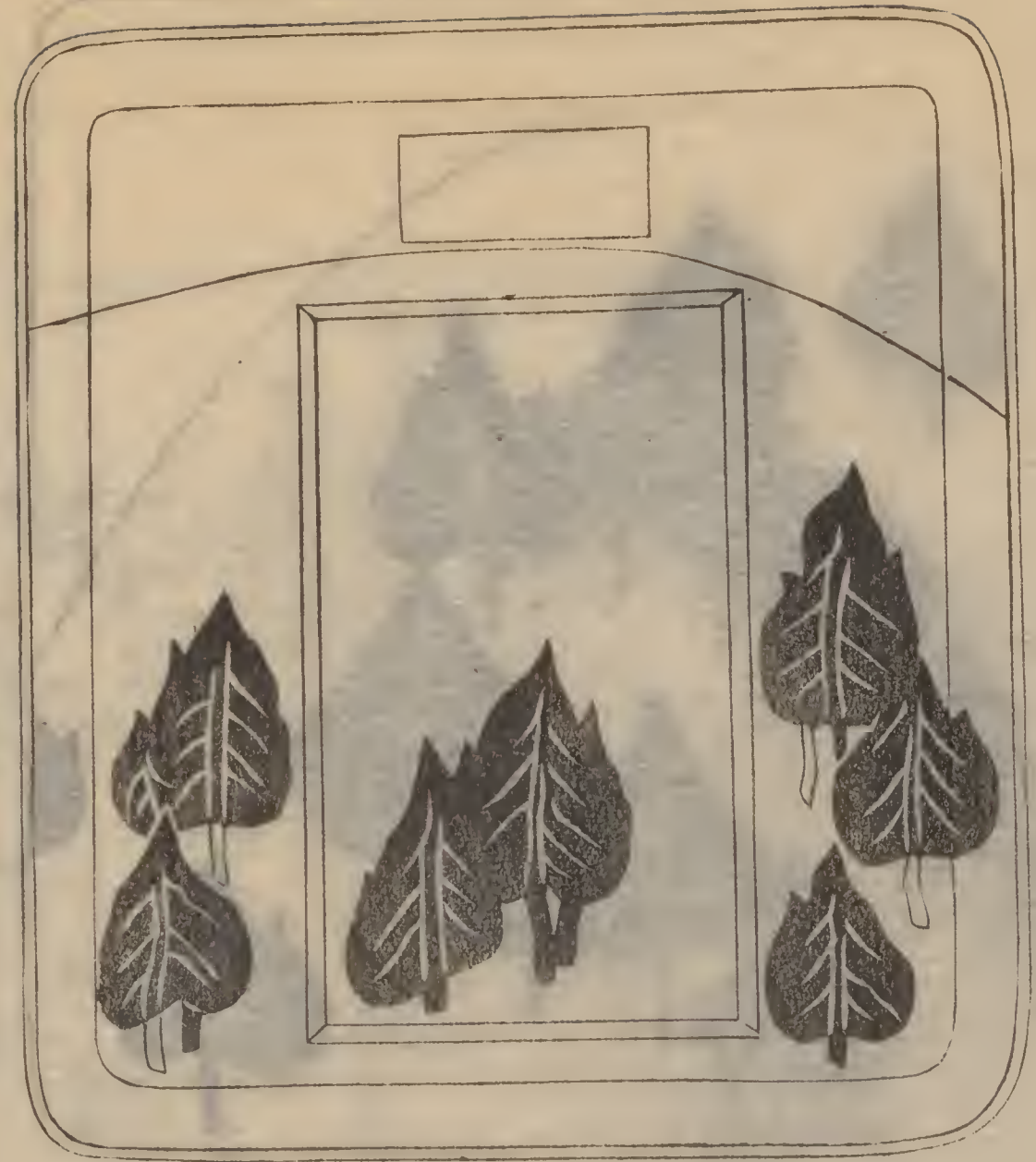
子



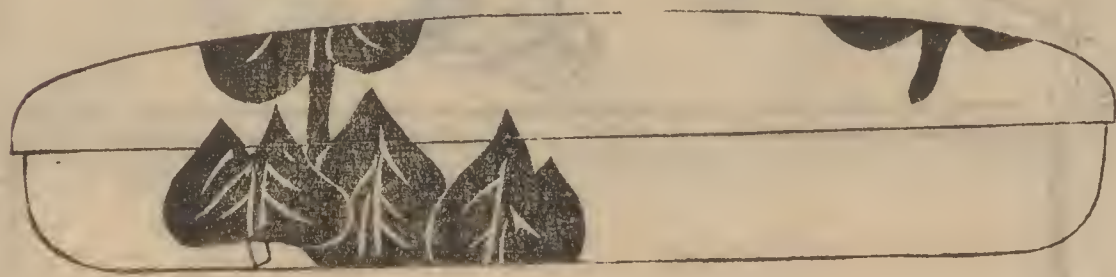
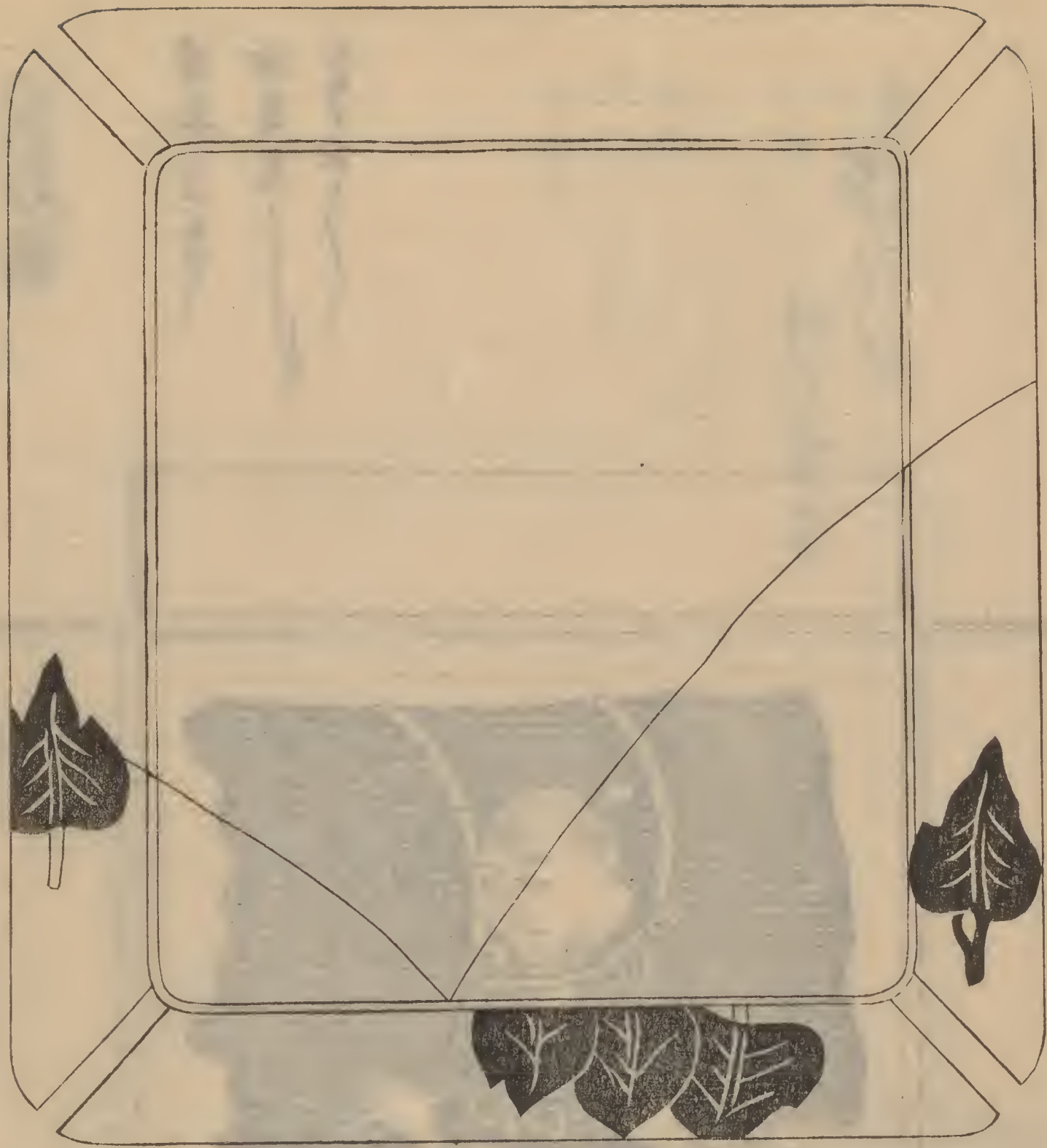
地盤系杉をとりてき青貝をとりて



其一



其二



月観箱

空衣なるあり
面青具くくく
かきつおし



きく
わんお家



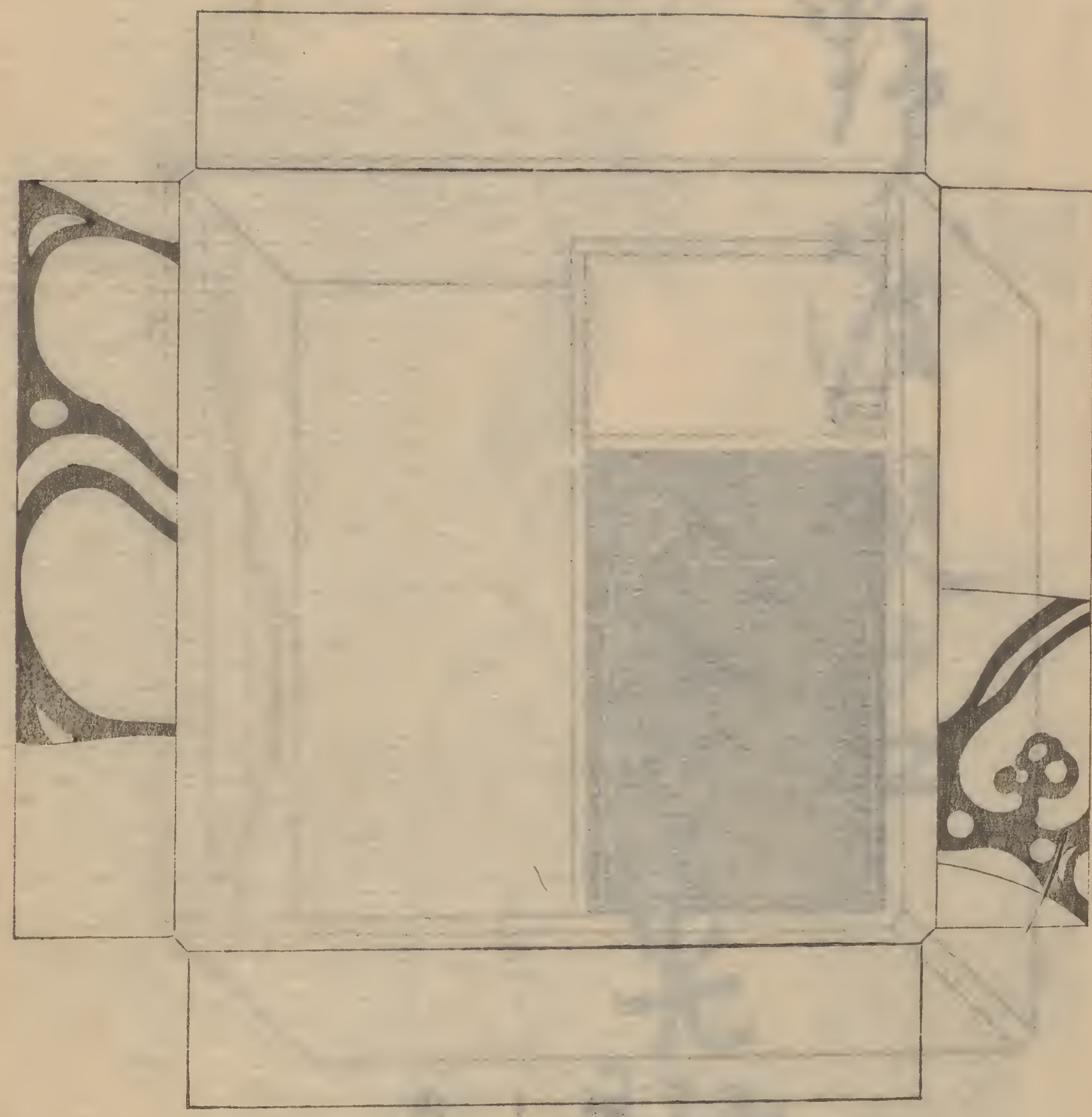
同 硯箱

地熱金
 衣青貝菱龜
 節黒くすりすー金
 さめき青貝紋龜
 馬湯くあきぬき
 とも金
 作青金のく根

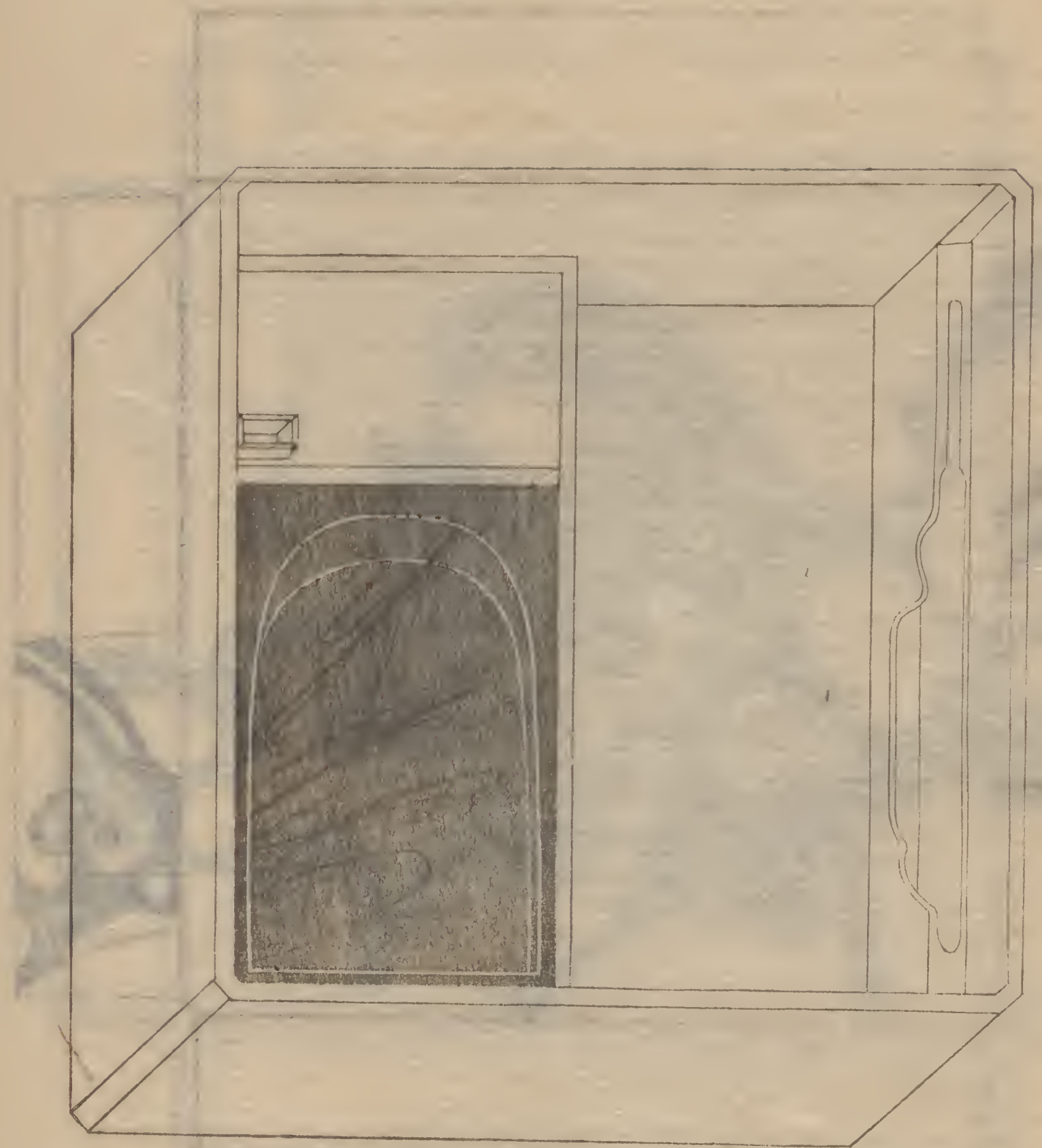


玉撮也
 寸法
 丈八寸
 横寸

一



其二



形之内

右箱内付

依彩波似箱

青光造

金地二枚打
屏風一雙
極彩毛



庄信光琳





彫工清水柳三



